



2022年9月13日

各 位

会 社 名 株式会社 土屋ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 土屋 昌三
 (コード: 1840 東証スタンダード・札証)
 問合せ先 経営企画部長 上諏訪 広
 (TEL. 011-717-5556)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年12月14日に公表した2022年10月期(2021年11月1日～2022年10月31日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2022年10月期通期連結業績予想数値の修正(2021年11月1日～2022年10月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 33,000	百万円 630	百万円 690	百万円 500	円 銭 20.00
今回修正予想(B)	35,300	335	430	46	1.84
増 減 額 (B-A)	2,300	△295	△260	△454	—
増 減 率 (%)	7.0	△46.8	△37.7	△90.8	—
(ご参考)前期連結実績 (2021年10月期)	31,051	590	647	477	19.12

(2) 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、売上高は、不動産事業においてドミナント戦略による重要拠点への集中的な拠点展開が功を奏したことなどから、当初予想を上回る見込みであります。

一方で、利益面ではウクライナ情勢の長期化及び日米の金利差拡大による円安等の影響からエネルギー価格・原材料価格の高騰など想定外の要因が発生し、対応を進めてまいりましたが、住宅事業において、当初の想定以上に建築コストが高騰したため、利益率が低下、加えて事業拡大に向け、期初から進めていた積極的な先行投資費用の増加により、営業利益及び経常利益ともに当初予想を下回る見込みであります。

また、各事業セグメントの収益構造が変化したことにより、連結での税負担率が当初予想以上に上振れたことから、親会社株主に帰属する当期純利益への影響が大きくなる見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

※本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上